

磐城時報

編輯 石城郡平町 印刷 石城郡平町 電話 四〇〇 郵政 石城郡平町 郵便局 第四四四番 電話 一〇〇 印刷 石城郡平町 印刷 石城郡平町 電話 四〇〇 郵政 石城郡平町 郵便局 第四四四番 電話 一〇〇

水道課長任命

技師に海老島氏を採用

青沼町長事務引継に先づ

道路工事

十九日着工

新任平町長青沼録太郎氏は来る二十四日頃伏見町長から正式に事務引継を受ける事になったが、之に先だち二十日登壇し水道課長七名の解職を断行し、解職された者は海老島定吉、永井富藏、吉田一儀、三浦幸一郎、臨時雇田坂工の管である。

調停裁判流行

平区助役が兼務する事となり經常部裁判所における債務調停事務はの技師として擴張部を解職され過般平町丸トモにおける中島監た海老島定吉氏が新たに任命さ督判事の講演等によつて大いに水道部人事異動の一部は断行宣傳された結果十八日まで申し渡されたわけで、その他町役場吏請六件に達したが、時節柄でも員の異動については青沼町長はあつたため今後は益々増加するも一切語る事を避けてゐた。

濱三郡木炭組合で

縣に理事會召集を迫る

縣警検査反對運動

縣下木炭同業組合では縣が明年炭同業組合では他の組合の同意度から實施せんとする木炭を得て縣に對し正式に聯合會理の縣警検査に反對を唱え既報の理事會召集の件を請求した。同理由如く郡山市に於て開かれた組合會に於て縣警検査に對して反對の長會議に於て縣が明年炭同業組合に對して決議し更に縣の方針に反對提案する事を阻止すべく猛運動する事になつた。

比佐代議士

演説會盛況

比佐代議士の議會報告演説會は昨報の如く十九日午後六時から平町聚樂館に開催、吉田五平氏開會の挨拶をのべ、石川徳壽、秋原義雄兩縣會議員が夫々演説をなした後比佐代議士の議會報告演説あり、終つて代議士清寛氏、小川郷太郎氏の時局批判演説があつたが、聴衆一千五百名で空前の盛況であつた。

伏見町長への慰勞金

六千圓内外か

本月中に町會で決定

退職した前町長伏見彦衛氏に對する慰勞金については本月中に町會を開いて決定される模様であるが、町會議員間の意圖では前々町長伊坂貞正氏が十六年の任期で一萬圓を贈つた例があり伏見町長は十四年であつたから伊坂氏の例に倣へば八千圓位であるから六千圓内外を贈らうといふ意見が大部分を占めてゐるやうである。

大峯辯護士講演

平町青年團では辯護士大峯康氏を聘し廿日午後六時からマルトモホールで金銭債務臨時調停法に就いての講演會を開く。

四倉漁港

第一期工事

四倉築港は第一期工事に屬する既設防波堤の補充設計が出来上つたので目下縣に工事認可の申請中だが、遅くも下旬までには認可さる、模様で正式の工事着手は十一月十日頃となるが、該工事は現在の防波堤を更に五十米づつ増すものである。

古河炭礦から

銅線を盗む

十九日午後石城郡好間村古河炭礦機械置場からケーブル線十三尺を窃取した犯人あり届出による。署では犯人につき嚴探中である。

根本町會議員に對する

破産申請の調停裁判

五百圓で調停成立

平町月見町々會議員根本品藏氏みられず僅に郡内平窪村の一小部落で小規模に栽培してゐたが、この程石城郡神谷村縣農事試験場石城分場にお十九日午後支部に開き市川檢に關し權利者森本盛一氏は酒井喜代正辯護士を代理として平區裁判所に對し根本品を相手取り破産の申請をなしたが、二十日午前九時から右に關する調停裁判を開いた結果根本品氏は森本氏に五百圓を支拂ふ事に調停成り破産申請を取下げた。

豊作疑ひなしと見て

米價低落の一途を辿る

七圓四十五錢に慘落

近年稀な豊作を傳へられてる石主、商人の持米薄に拘らず下落城地方山間部に於ける水田は既に下落をたどり十九日の相場はに錄入れを了したが、收穫は大四等建七圓四十五錢で去月下旬体において二割近くの増收疑ひに比して五十一錢からの暴落でなしと見られて居り、その他各あるが、この相場は更に收穫期の作柄も山間部に劣らぬ上出に及んで七圓を割り六圓八九十來からいよゝ豊年萬作の秋と錢位に落ちるものと當業者は見なつた、昨今の俵米取引は地である。

齊藤の判決

二十六日言渡

平町元警越銀行員齋藤廣吉(三城郡業株式會社の株券九十株を所有してゐた)未拂込金拂込に關し權利者森本盛一氏は酒井喜代正辯護士を代理として平區裁判所に對し根本品を相手取り破産の申請をなしたが、二十日午前九時から右に關する調停裁判を開いた結果根本品氏は森本氏に五百圓を支拂ふ事に調停成り破産申請を取下げた。

出炭の大増加で

常磐炭礦好況

石城郡下磐城、入山、古河の三數百名づつ、應募者がある盛況を大炭礦並に各個人經營炭礦では示してゐる。なほ炭價の高騰に夏枯期の爲從來一週間毎に一日つれて益々各山は急速度の景氣の公休日五日目毎に増加してを呈して來た。

巡回診療開始で

大喜びの醫師なし村

醫師、藥劑士、看護婦出張

石城郡下の醫者なし村、鹿島、玉川、永戸、箕輪、三坂、澤渡の六ヶ村に對する縣の無料巡回診療は左記日割で開始したが、醫師は醫師吉野文都、調劑士上田茂、書記松浦誠、看護婦箱崎ふさ諸氏である。

栗栽培奨励

石城は好適地

石城郡下の栗栽培は從來餘り願

姉妹の搜索願

郡飯野村吉野屋農務長吉長女トミエ(一八)同二女トツエ(一五)の兩名は十三日午後三時頃家人の公休日も廢し日曜日だけを休むことにし、出たが、兩名は都府方面へ赴いて、同方面に照會中である。

讀者論談

フアツシヨ

大井川生投

「フアツシヨ」とは伊太利語に云ふ「束ねる」の意で、狹義な言質上では「結束」と翻譯し得る。フアツシヨの初まりは...

を第一の任務とする。如上的大衆組織であり、獨占資本主義下に刻々餓死せんとする農民又は小市民...

油と味噌

山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部専用)一〇番 (二般用)四二七番 振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

廣告

新任外科部長 内木學士來任

七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス

内臓外科 泌尿器科 醫學士 内木宗八

昭和七年七月

平町新川町十九番地

木村病院 電話一六四番

腸胃 毒梅 專門 皮膚病 院醫科 (七〇一話電)

陣容充實シタル 野崎タクシー部!!! 今回更に三二年型最新式 タクシー車が入りました

野崎タクシー部 電話六五九番

共濟病院案内

- 院長 醫學博士 石山謙 內科 醫學博士 石山謙 小兒科 醫學博士 佐久間重 外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂馬重 喉科皮膚科 醫學士 有馬雄二 産婦人科 醫學士 五十嵐雄 X光線科 醫學博士 石山謙 衛生試驗所 技師 高石山 藥局 技師 高石山 藥劑士 吉本孝利

磐城共濟會 電話六四一番

病室完備 X光線科 上田外科醫院 電話一二九番

カキ貝 御料理 産名島松 カキフライ 二十五錢 カキナベ 四十錢 其他 スカキ 二十錢

吸入用酸素 純度99%

關内藥局 電話四〇番

最新版 平町全圖 一部 貳拾錢 從來の繪圖面式のものより異り精密正確を極めたる精圖なり大平町の調査資料として是非一部御常備を乞ふ 里程入石城郡地圖 一部三十錢 マルトモ柴田書店 電話二三四 五九七